

5. 事業の進捗

(1) 段階整備計画（現計画）

小田原箱根道路は、対象地域の交通混雑の抜本的解消による国道機能の回復と沿道環境の改善を目的に平成2年度に事業化し、整備効果の早期発現のため、山崎IC立体部を除いた区間での段階供用を平成13年度に行い、引き続き平成16年度の完成供用を目指していました。

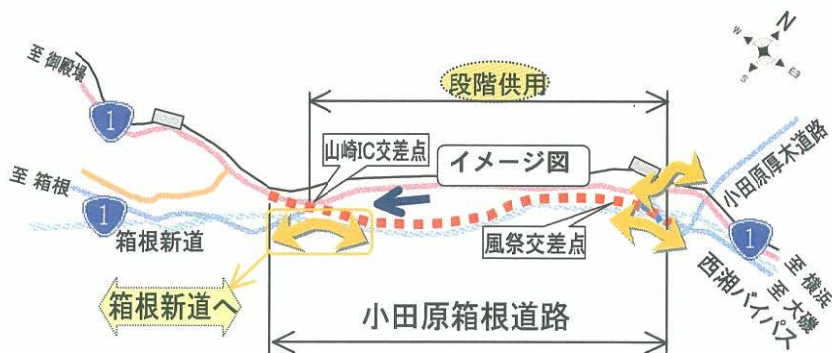


図 段階供用後の経路



図 完成予想図(段階供用)

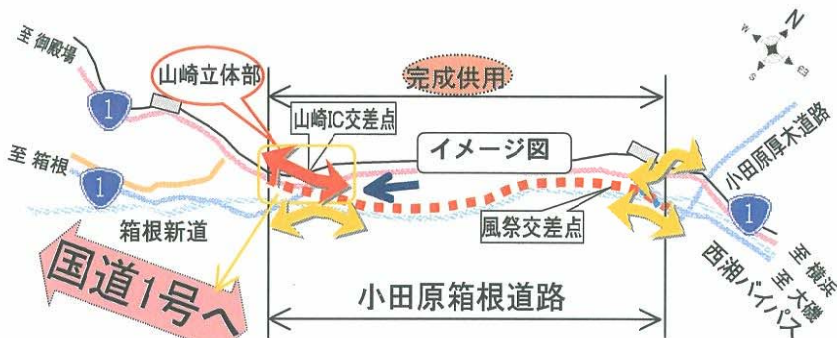


図 完成供用後の経路



図 完成予想図(完成供用)

(2) 現在の状況

全体事業費	約 190 億円
うち用地費	約 100 億円
執行済み額	約 173 億円 (約 91%)
うち用地費	約 96 億円 (約 96%)
残事業費	約 17 億円

(3) 事業遅延の理由

当事業は、南北を山に挟まれた幅の狭い河川沿いの集落に計画されていたことから、移転を伴う地権者には、近傍に移転可能地が少なかったことから、調整に時間を要しました。また、山崎ⅠＣ立体部においても、用地買収が難航しており、供用目標が遅延することとなりました。

(4) 事業遅延の社会的影響

事業区間前後で接続する自動車専用道路により、並行する国道１号への交通集中による慢性的な交通混雑は解消されておらず、慢性的な渋滞等が継続し、沿道環境の改善が図れず、地域住民や道路利用者に対する社会的影響が生じます。

(5) 今後の予定

段階供用区間の用地買収に係る調整が完了し、その後、工事進捗を図り、平成１６年度に段階供用を図ります。

今後、山崎ⅠＣ立体部の用地買収、工事を進め、平成１９年度に完成供用を図るべく事業を推進します。